



やまがた



※表紙の写真は撮影のためマスクを外してもらっています。

美容家

あわづはら いくみ
栗津原 生美さん(下竹田)

「あなたの“手”はエステに向いている」と、美容師として働いているときにお客様で来ていたエステの先生に言われ、一から勉強してエステティシャンに転身した生美さん。

2年前、自宅にサロンをオープンし、店名はお子さん(ひかる)の名前に掛けてフランス語で『ルイール Precious』(価値ある輝き)と名付けました。「自分の“手”で結果が目に見え、お客様も喜んでくれることが嬉しい」と話してくれました。

(3月7日 自宅サロンにて)

働く姿



告知板

令和3年度(2021年度)生涯学習カレンダーの配布について

- 連絡班未加入の世帯及び企業の方
教育委員会から送付されるハガキと引き換えでトレーニングセンター受付にて無料で1部配布します。
- 追加で欲しい方
トレーニングセンター受付にて1部450円で購入することができます。

お問い合わせ
山形村教育委員会 ☎98-3155

山形村出場予定!! 第30回長野県市町村対抗駅伝 第16回長野県市町村対抗小学生駅伝 2021年4月24日(土)

松本平広域公園陸上競技場を主会場にSBC信越放送で生放送予定(小学生は後日放送)です。郷土の代表へ応援よろしくをお願いします。

コールベルで「密」を解消 確定申告会場で新たな試み

2月16日(火)〜3月12日(金)の間、山形村役場にて、令和2年分確定申告、納税相談会が行われました。期間中は多くの方が検温や手指消毒など新型コロナウイルス感染症対策をしながら、申告書の書き方の相談や提出に訪れていました。会場内での人の密集を避ける新たな取り組みとして、小型受信機のコールベルで順番を知らせる方法が試行されました。受付で小型受信機を受け取った後は、役場駐車場の車内や山形村図書館でも電波



を受信することができ、来場者にとってはストレスなく待つことができただけではないと思います。確定申告の期限は4月15日(木)です。山形村役場での申告の相談や提出は終了しましたが、まだお済みでない方は松本税務署、またはe-Taxをご利用ください。

新鮮・直送・冬の味覚 殻付きカキの頒布会

2月28日(日)、いちいの里にて、東日本大震災「山形村からできる支援」を考える会(代表 田村守康さん(上大池))主催で岩手県山田町産カキの頒布会が行われ、漁師さん直送の3,240個のカキが事前注文した方に販売されました。この頒布会の利益は全額、義援金として山田町社協に送られます。

発生から10年が経ちましたが、被災地にとっては節目ではなく日常の延長です。この頒



献血

3月17日(水)、いちいの里にて、献血が行われました。コロナ禍で企業や学校での献血が少なくなつた分、自治体や商業施設での献血は増えており、パーテーションの設置、献血車内の人数制限などの感染対策をとって行われています。献血センターで行う場合は予

布会をきっかけに、震災だけでなく自分たちの防災について考えたいと思います。

バトンタッチ

3月4日(木)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、公民館新田分館長会が行われました。



最初に百瀬純雄公民館長が「この2年、コロナなどいろいろなことができなかったことが悔やまれます。新年度こそはコロナ禍から出来る何かを模索して公民館として出来ることをやっていきたい」と目標を宣言しました。

約も可能なので密を避けることも出来るとのこと。いちいの里での献血は毎年12月頃、アイシテイでも年に数回行いますのでYCS、広報、献血センターのウェブサイトのサイトなどの情報をご覧になりお越し下さい。



山すそ

ついに私にも、ペンを置く時がきた。館報編集部を去るのだ。6年間という長い任期ではあったが、山形村と向き合い、村を知れた歳月であった▼「どうせやるなら楽しみながらやる」これが私のスタンスで、編集部もそれでやってきた。メンバーにも恵まれた。会議中は部活動の雰囲気そのもの。取材の話で盛り上がり、脱線に次ぐ脱線で深夜まで行うこともあった。大変なこともあったが、自分自身成長出来た▼『山すそ』を担当するのは好きだった。決められた文字数に伝えたいことを納める文章テクニクが必要となるが、自分の考えを公言することが出来るからだ▼子育てに対しての考えや、家族で行った温泉旅行の話、清水高原にキャンプ場を開設して欲しいという村への間接的な訴えや、ヤギを飼いたい話など表現を楽しみながら書いてきたつもりだ。村のホームページでバックナンバーを見ることが出来るので探してみたい▼『山すそ』が書けなくなることは残念であるが、新たに加わる後輩にこの楽しさを譲ることにしよう。

※山形保育園・やまのこ保育園の卒園式及び山形小学校・鉢盛中学校の卒業式の様子は、4月号に掲載します。

思い出に残るカレンダーを作りました



山形小学校6年2組では『やまがたふるさとプロジェクト』という授業の一環で、山形村の魅力が満載のカレンダーを作成しました。3月17日(水)にクラスを代表して井上佳乃さんと百瀬心美さん(ともに下竹田)がカレンダーを教育委員회에寄贈しました。

カレンダーは、トレーニングセンターなど公共施設に飾ってありますのでぜひご覧ください。

山形小学校6年生感謝の会



2月26日(金)、山形小学校6年生が感謝の会を行いました。これは小学校生活最後の参観日に学年合同で企画したもので、クラスごとに準備をしてきました。

「笑いが起こるような楽しい発表にしたい」「成長した姿を見てもらえるように、カッコいい発表にしたい」「お家の方に感動してもらえるような発表にしたい」と子どもたちの思いはそれぞれのようでしたが、『感謝を伝えること』は、どの子の心の中にもしっかりと練習をしてきたとのことでした。クラスごとの発表のあと、全体での合唱、合奏を行いました。さすが6年生と思わせる出来栄で、笑いあり、感動ありの時間を過ごしました。6年間の成長を感じ、感謝の気持ちがたくさん詰まった発表会となりました。

鉢盛中学校3年生を送る会

3月15日(月)、鉢盛中学校で3年生を送る会が行われました。当日は、コロナ感染防止の観点から、ビデオカメラを使いライブ配信して各教室から参加する形になりましたが、在校生から卒業する3年生へ感謝のメッセージを伝えることができました。



山 っこ 情報局

やまのこ保育園 雛祭り

3月3日(水)の雛祭りは、園児たちが制作した雛人形を飾って桃の花を供え、甘酒を飲んで祝う特別な日です。「毎年、子どもたちの様子に合わせて素材や工程を工夫しながら、雛人形作りに取り組んでいる」と話す岩岡きく江園長。松ぼっくりのお雛さまを作った2歳児クラスの園児たちは、お散歩で拾った松ぼっくりに好きな色を塗って作ったそうで、楽しそうな制作風景が想像できます。千代紙を細かくちぎった張り子雛や緻密な折り目のつるし雛、うさぎ雛が並んだ麗らかな園舎に春の訪れを感じました。

つるし雛 (年中クラス)



張り子雛 (年少クラス)

うさぎ雛 (年長クラス)



松ぼっくり雛 (2歳児クラス)

山形保育園 避難訓練

2月19日(金)、山形保育園にて、地震を想定した避難訓練が行われました。園内放送で地震の発生が伝えられると園児たちは机の下に入り、身を守りました。その後のアナウンスで園庭に避難する際には、先生の指示をよく聞いて落ち着いて避難することができました。

東日本大震災から10年が経過し、現在保育園に通っている園児たちは全員震災後に生まれた世代です。「災害は忘れたころにやってくる」と言います。日頃から地震や風水害などに備え、家族の連絡体制を話し合うなど、できることから始めてみましょう。

先生の話をよく聞いて避難できたよ!!



机の下に隠れるぞー!!



負けず夢に向かって!!

～ この春山形小学校を卒業する皆さんが語る将来の夢 ～



<p>日本のいろんな所へ家族と行きたい。</p> <p>有馬風香</p>	<p>おいしい野菜を作る農家になりたい。</p> <p>有名な桜餅の名人になりたい。</p> <p>石田 巡</p>	<p>大人になったらいろいろな物を作りたい。</p> <p>市川志記</p>	<p>みんな気持ちがいいようにマナーズ屋を開きたい。</p> <p>井 隼 楓</p>	<p>大人になってもいろいろな国県にいきたいです。</p> <p>岩崎 寛大</p>	<p>YouTubeなどでゲームや、歌などで活躍する動画を作りたい。</p> <p>浦野まゆ</p>	<p>日本の地の観光地もゆくりたい。</p> <p>遠藤知奈</p>	<p>保育園のみんなの笑顔が喜ぶ目撃者って保育士になりたい。</p> <p>大池 杏奈</p>	<p>ペンタカを買ってたくさん絵を自分も楽しめて相手もうれしくなるような絵師になりたい。</p> <p>大槻 美月</p>	<p>料理の勉強をして、食べた人を笑顔にしたい。</p> <p>柴田 亮莉</p>
<p>世界に旅していろいろな種類の生き物を見たい。</p> <p>塚田 響</p>	<p>どんな人とも優しく接し合える医者になりたい。</p> <p>寺崎 森陽</p>	<p>みんなが楽しいと思える家を設計したいです。</p> <p>中村 陸</p>	<p>みんなが楽しんでいる家を見たい。</p> <p>☆</p> <p>中村 陸</p>	<p>みんなが楽しんでいる家を見たい。</p> <p>☆</p> <p>中村 陸</p>	<p>みんなが楽しんでいる家を見たい。</p> <p>☆</p> <p>中村 陸</p>	<p>日本一周してみたい。</p> <p>手塚 大希</p>	<p>看護師になっていろいろな人の手助けになりたい。</p> <p>二田 神楽</p>	<p>花屋さんにしたい。</p> <p>本庄 夏野</p>	<p>自分の家がほしい。</p> <p>宮澤 侑未</p>

6年1組 担任 松田 歩先生

<p>野球場で活躍したい。</p> <p>たけし</p>	<p>活やくてまろか、こいパールのセター</p> <p>井上 佳月</p>	<p>みんなが笑顔になれる料理を作る。</p> <p>龍田 遼真</p>	<p>困っている人を助ける大人になりたい。</p> <p>春日 空</p>	<p>かっこいい犬訓練士</p> <p>上原 美実</p>	<p>まわりの人を大切にして、たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>上原 陽依</p>	<p>まわりの人を笑顔にできる優しい大人</p> <p>洞原 理乃</p>	<p>オリンピックで金メダルをとれる柔道選手</p> <p>小島 二海</p>	<p>聞いた人を笑顔にできる声優になりたい。</p> <p>北本 陽菜</p>	<p>優しい大人になりたい。</p> <p>鹿間 陽希</p>	<p>困っている小さな子ども達に手をさしのべられるような優しい、明るい、保育士になりたい。</p> <p>鈴木 更紗</p>
<p>動物たちや、飼いたい動物に会いたい。</p> <p>HAPPYにさせる。</p> <p>トリアーにむす。</p> <p>中村 真希</p>	<p>何かしらの形で人を助けられる大人。</p> <p>野村 瑛衣</p>	<p>子どもを救って助けられる看護師さん。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>	<p>たくさんのお友達と、楽しい生活を送りたい。</p> <p>藤原 聖</p>

6年2組 担任 百瀬 公則先生

<p>歴史のことを調べる人</p> <p>赤羽 珠太</p>	<p>ウイキペディアの編集者</p> <p>中村 陸</p>	<p>億万長者</p> <p>西牧 陸</p>	<p>一級建築士</p> <p>中村 陸</p>	<p>プログラマー</p> <p>永田 細乃</p>	<p>東市に住みたい</p> <p>文化や進んでいるから東京に住みたい。</p> <p>赤羽 珠太</p>	<p>プログラマー</p> <p>永田 細乃</p>	<p>億万長者</p> <p>西牧 陸</p>	<p>一級建築士</p> <p>中村 陸</p>	<p>プログラマー</p> <p>永田 細乃</p>	<p>東市に住みたい</p> <p>文化や進んでいるから東京に住みたい。</p> <p>赤羽 珠太</p>
<p>歴史のことを調べる人</p> <p>赤羽 珠太</p>	<p>ウイキペディアの編集者</p> <p>中村 陸</p>	<p>億万長者</p> <p>西牧 陸</p>	<p>一級建築士</p> <p>中村 陸</p>	<p>プログラマー</p> <p>永田 細乃</p>	<p>東市に住みたい</p> <p>文化や進んでいるから東京に住みたい。</p> <p>赤羽 珠太</p>	<p>プログラマー</p> <p>永田 細乃</p>	<p>億万長者</p> <p>西牧 陸</p>	<p>一級建築士</p> <p>中村 陸</p>	<p>プログラマー</p> <p>永田 細乃</p>	<p>東市に住みたい</p> <p>文化や進んでいるから東京に住みたい。</p> <p>赤羽 珠太</p>

6年3組 担任 二宮 千晴先生



祝 卒業！ コロナに

学級目標 ひとり～自立・自律～みんな～協力・思いやり～
一生懸命～悔いなく、感謝、恩返し～



<p>ペットを飼いたい。 竹茂 保乃元</p>	<p>犬に家族がたくと見られて 大か幸せになれるまでトリー になりたい。</p> <p>卒業 野登</p>	<p>日本のいろいろな水族館を 行って写真とりたいので 潮、智心</p>	<p>みんなが良いと思ってくれような デザインや品物などが考えられる ような人になりたい。</p> <p>住吉 登春</p>	<p>みんながすごい!! と思えるワカ選手に なりたい。</p> <p>清水 陽太</p>
		<p>将来は 動物にかこまれて 生活したい</p> <p>出 暁純</p>	<p>家族みんなで行きたい。</p> <p>村上 瑠那</p>	<p>美容師になってみんな と笑顔にしたい</p> <p>宮沢 優那</p>

学級目標 みんなでYY (やりきり満足、やさしさ見本)



<p>心に残る シエフになる 中村 翔</p>	<p>人に笑顔とあげられる 美術の先生 富田 菜有</p>	<p>今は、特許取りまがしん。 虎坊 自乗金琉</p>	<p>周りの人を大切にしたり 誰かを助けたり みんなを笑顔にできる人 田口 優希</p>	<p>家族が忙しくまがしんの顔をみる のが大変な人を助けたい。</p> <p>須山 智香</p>
<p>まわりの人を 自然と笑顔にできる人 遠達 真佳</p>	<p>親孝行ができる 大人 横水 一貞</p>	<p>みんなが住みやすい 家を建てる大工 出崎 千</p>	<p>たぐまの 人々救う 薬剤師 山口 奏河</p>	<p>おれが助けられる大人 になりたい</p> <p>吉田 孝弘</p>

学級目標 達成感と感謝の気持ちを持って笑顔で卒業しよう



<p>お花屋さん 私は花が好きでたくさんのお花を 育てたいからです。そして毎日 い花を育ててあげたいので笑顔に なれるようにしたいです。 永井 舞美</p>	<p>薬剤師 薬のことを分かりやすく伝える 薬師になりたいです。 田原 花梨</p>	<p>声優 私はアニメが好きでよく見ています。 声優になりたいです。そして毎日 楽しく仕事をしたいです。 鈴木 陽菜</p>	<p>サフリーマン この仕事は、やりとりに出ると そう簡単にはいきません。 清水 大瑠</p>	<p>小学校の先生 小学校は楽しい場所です。 子供たちと毎日楽しく過ごす ことが大好きです。そして毎日 笑顔で授業をしたいです。 佐野 芽音</p>
<p>ペットショップの店員 動物が好きで猫のお 世話をしてみたいから です。 山田 伊織</p>	<p>サッポロ選手 もしプロになれたらメキシコ に行きたいです。 百瀬 唯希</p>	<p>美容師 私は美容師が大好きで人の髪を 切りたいです。そして毎日 笑顔で仕事したいです。 百瀬 唯希</p>	<p>作家 ノートに物語を書いているのが とても楽しいです。そして 動かしやすい本を書ける作家に なりたいです。 切月 直希</p>	<p>歌手 歌を歌うのが大好きで これからもずっと歌を歌 うたいたいです。そして毎日 笑顔で仕事したいです。 村山 智香</p>

ネットで繋ぐ図書館の輪



2月19日(金)、第46回中信地区図書館職員連絡会が山形村図書館主催で行われました。

今回はコロナ禍ということもあり、ビデオ通話アプリ(パソコンやスマートフォンを使って会議などをオンラインで開催するもの)を活用し会議が開催されました。

各地域の図書館からはコロナ禍でのイベント開催時ににおける感染対策や参加者数の制限、外出自粛時の図書貸出の方法など課題や疑問について各館の状況を共有して、より安心して利用できる図書館となるよう意見が交わされました。

農地・農業のお悩みを応援

2月26日(金)、山形村役場にて、農地・農業なんでも相談会が行われました。農地の売買や相続、新規就農について個別の相談に対し、山形村農業委員会や産業振興課の職員がじっくりと話を聞き、具

片付け術講座

3月6日(土)、山形村図書館と山形村公民館の共催で「頑張りすぎないシニアの片付け術」講座が行われ、約30人が参加しました。整理収納のコンサルティング業などを営む藤森妙子さんを講師に迎え、整理の基本や片付けるコツ、捨てるコツ、収納の基本について分かりやすくレクチャー

いただきました。途中で行われた練習問題にも真剣に取り組み、有意義な時間となりました。



体的なアドバイスをしています。

農地や農業でお困りの方は産業振興課までお尋ね下さい。



特集 家族で話そう「家」の未来(上)

山形村空き家バンクについて聞いてきました

平成30年に開設された『山形村空き家バンク』。すでにご存じの方もいると思いますが、どのような経緯でこの制度が立ち上がったのか、目的や現状について、『山形村空き家バンク』の相談窓口である山形村役場・企画振興課の宮越さんと山本さんにお話を伺いました。本号を含め3回に分けてお届けします。



『山形村空き家バンク』が開設された理由はなんででしょうか？

全国的に高齢化や過疎化などの理由で空き家の増加が問題となる中、山形村においても『昔に比べて空き家が目立ち始めた』という声が聞かれ、空き家の実態調査を開始しました。平成29年の時点では25件の空き家が確認されましたが、現在はそれ以上あると思われます。

空き家の主な理由は、核家族世帯の増加により、実家が空き家となるというケースです。村内で新しい家はどんどん建っていますが、1世帯あたりの人数は平均3人と核家族化が進行していることが窺えます。しかし、住宅数は上昇しているのに反して、人口は下降しており、少子高齢化に伴って空き家が増加していることに危機を感じました。

空き家は放っておけば倒壊や衛生面・防犯面でも問題になります。活用できれば地域の活性化や移住の促進に繋がります。『山形村空き家バンク』は空き家を所有している人と探している人を繋ぐ架け橋であり、両者にプラスになる制度として開設されました。(次号につづく)



おめでた(子・親)

百瀬 菜星・ 嶺之 小坂

村上 乃彩・ 彰 下竹田

三・系車



ふるさと伝承館の活動を紹介する「三・系車」。第6号となる今回は、伝承館跡地の様子をお伝えします。

3月に入りついに更地となりました。68年間建っていた建物が無くなって広々とした土地(跡地)を見ると少し切ない気持ちになります。

この場所は今後新たな活用の方針が決まるまで「旧山形村役場・ふるさと伝承館」跡地」としてこのまま維持されます。

おくやみ

- 小野美恵子・96歳・上竹田
青沼 煌・101歳・上竹田
百瀬ささ子・94歳・下竹田
堤 義明・62歳・中大池
寺崎 貴光・49歳・上竹田
百瀬 勇夫・89歳・上竹田

活き生き熟活動記録

2月24日(水) 健康体操

アップテンポなリズムに合わせてハミングをしながら体を動かす『スポーツボイス』を体験しました。コロナ禍で人との会話が少ない今、声を動かすのが軽い運動をし、参加者は良い汗をかいていました。



味噌の仕込み

2月21日(日)・28日(日)の2回、山形村観光協会主催の味噌の仕込み作業がエポック館で行われました。例年は『味噌作り講習会』を開催し、参加者を募り味噌の仕込みをしていただきましたが、今回はコロナ禍での感染防止のため、事前予約で受け付けた方に容器を持参してもらい、仕込みの段階までを村の農産加工指導員が預かった容器に仕込みました。昨年は1回の仕込みで約10人が参加し、にぎやかに作業し

3月9日(火) ボランティア講座



講師に松本大学の尻無浜博幸教授を招き『防災×地域力』をテーマに最新の動向を学びました。

『自らの命は自ら守る』行動を速やかに取る。行政はそれらの住民主体の取り組みを支援する。東日本大震災の教訓を活かし、さまざまな災害対策の方針が見直されることになりました。

ていたところ、今回は3人の指導員が2回分で約320kgの味噌を仕込んだため、翌日の筋肉痛も大変よ」と苦労話もありましたが「味に定評があり、毎回喜ばれている味噌が届けられたらこの疲れも吹っ飛びわ」と色とりどりの桶に仕込んでいました。



私たちの意識も災害時に限らず、日頃から『お互い様』の精神で住民同士の支え合い・助け合いを大切することで、地域を守ることができるとは限らないでしょうか。

おやじ熟活動記録

2月19日(金) 作戦会議

今年に入ってから県内でも新型コロナウイルスの感染が拡大したため活動を自粛していましたが、今後の活動や来年度やってみたいことなどを話し合う作戦会議を開きました。意見が交わされる中で、来年度は「きのこの駒打ちから収穫までやってみよう！」というのでした。今秋にも収穫可能な、なめこ・ひらたけなど色んな種類のきのこにも挑戦してみよう。

月1回で開催しているおやじ塾ですが、来年度の活動も目が離せません。



みんなの人権 ⑧

“女性蔑視発言と「刷り込み」の根深さ”

～ジェンダーフリーの村づくりに向けて



されている最中に、突然報じられた五輪組織委員会長の「女性蔑視発言」。社会に根強く刷り込まれた「男らしさ・女らしさ」と言つ「ジェンダー意識」。それをなかなか払拭できない日本の現実に衝撃を受けながら、かつて人権教育の資料集を編集していた頃のことを思い出しました。◇今から20年も前、平成11(1999)年4月、当時の労働省は、広報で「男女雇用機会均等法が改正され、「男性のみ」「女性のみ」の求人禁止されます。女性をひとくくりに考えるのではなく、男女を問わず個人がイキイキとその能力を發揮できる職場となるように、男女均等法、労働基準法および育児・介護休業法が改正されます。」と呼びかけました。そして、ある保険会社は、前年まで当たり前だった、スカート姿の女性のイラストに「女性普及員募集…貴女にピッタリのお仕事です」という求人広告を、急遽、ウサギさんの姿に「普及員募集」と、性別を問わない文言に代えるなどしたものでした。(高校入権教育資料集「Gender Equality」参照)◇そんななか、長野県も男女共同参画に関わる参加体験型の研修教材をいくつか編集しました。「優の風景⑧号」の「息子よ、息子！」なるアクティビティもその一つです。6枚のカードを並べ替えて、「交通事故で、父親は即死、息子は重傷で病院に。対応した外科医が、「これは私の息子」とおのき叫んだ」と言つ「筋書きを作ります。」「あれ、外科医は男性のはず。父親は即死したはずだが?」◇近年でも、村などの研修会では、「このワークの筋書きは辻褄が合わないのでは?」とよく疑問符が付きまします。他方、大学などの講座では「おかしくないよ。外科医は母親だったんだよ」とどこかで声が上がります。ジェンダーに関わる意識は大きく変容してきているようにも見えます。◇でも、「親が単身赴任中」と言えば「父親」を、「保育士」と言えば「女性」を思い浮かべるという調査結果もあるという現実。「無意識の偏見・刷り込み」は、自身の気持ちのなかにも忍び込んでいるのではないかと、自問することしきり。◇折しも、現在進行中の村第四次男女共同参画計画のスローガンは「あらゆる場所でともに輝くやまがた」。東京五輪大会の基本コンセプトの一つは「多様性と調和」。そして、3月8日は、「国際女性デー」。「男女を問わず個人がイキイキとその能力を發揮できる社会づくり」に向けて、村の生涯学習のなかでも、「心の鎔造とし」の研修は繰り返し続けていく必要があつたのです。

(令和3年3月 M・H記)

ともに歩み、刻んだ歴史

No.1~No.779 Making the news

創刊から現在まで印刷製本業務を担ってきた信州印刷株式会社が本号をもって『館報やまがた』の業務を終了することになりました。長年にわたって、編集部員たちと二人三脚で制作を支えて下さり、紙面に温かみといきいきとした表情を吹き込んでくれました。『館報やまがた』の歴史を振り返り、平成に入ってから歴代館報編集部部長5名と信州印刷株式会社・宇佐美社長に当時の思い出を語って頂きました。

※歴代館報編集部部長の写真は、編集部員任期当時のものを使用しています。



古川 誠治さん
(上竹田)
平成15年度部長

時には村政に苦言を呈することもあり、村民が興味のあることを提供する
のも館報の役割のひとつだと思います。

信州印刷さんとお別れはとても残念です。校正で夜遅くなり、迷惑を
かけましたが社長をはじめ、奥さまもいやな顔もせず感謝、感謝の連続です。

原稿を書いていたら夜が明けてしまったことなど切ない思い出ば
かりです。毎月確実に一号ずつ発行を絶やさずに繰り返すことは、
編集部員みんなの努力と苦勞の連続で成り立っています。



児玉 功臣さん
(下竹田)
平成3~7年度
部長



曾根原 覚さん
(下大池)
平成27~28年度部長

昭和25年の創刊から現在まで、館報はその時代の流行や世相が如実に表され
ている貴重な読み物だと感じます。

職人氣質の社長をはじめ、信州印刷の皆さんにたいへんお世話になりました。

『山ブラ』の企画で、タイトルに使った歩く
人のデザインも私の案から信州印刷さんに良い
デザインを作ってもらいました。校正に納得が
いかなかったときも遅くまでお付き合い頂き、
その甲斐もあって良い紙面になりました。



百瀬 悟さん
(下竹田)
平成25~26年度
部長



上條 雄嗣さん
(中大池)
平成29~30年度部長

世間はWeb全盛期となっているが、紙媒体の館報は村民にとっても貴重な情報源
ではないでしょうか。

校正時に細かな修正を何度もお願いし、ご対応頂いたことに感謝しております。校
正終わりに頂いたお茶が思い出に残っています。信州印刷の皆さん長い間『館報や
まがた』を支えて頂き、本当にありがとうございました。



長い間本当にありがとうございました



長らくお世話になりましたが、この5月をもって
閉業することになりました。昭和24年に創業し、翌
25年から『館報やまがた』には大変お世話になりま
した。先代が昭和48年に急逝し、当時入社したてで
新聞に対しての知識も無い時、参考にさせてもらっ
たのが広報コンクールに何度も入賞していた『館報
やまがた』でした。校正の時もいろいろと教えてい
ただいた思い出があります。今はネットの時代。来
社されて校正されるお客様は減りましたが、対面
での字句の修正、レイアウトの変更などで、だんだんと良くなっていく館
報を見るのが楽しみでもありました。かかわりが途切れ寂しくなりま
すが、長い間本当にありがとうございました。(信州印刷(株) 宇佐美進)

4月からは伝統を引き継ぎつつ気持ちを一新し、新たな印刷会社とともに村民の皆さまに親まれる紙面作りに励んでいきたいと思ひます。これからもどうぞ『館報やまがた』をよろしくお願ひいたします。

山形村公民館報 編集部一同